

日本金属学会第2分野主催研究会

タイトル：情報化社会における材料科学の役割と課題

開催日時：2024年11月8日（金）13時30分～17時00分

場 所：東北大学 金属材料研究所 講堂(二号館)およびZoomによるハイブリッド形式
〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平 2-1-1

参加費：無料

開催概要

近年、IoTやビッグデータ、生成系AI技術の急速な発展により、情報機器への期待は益々高まってきている。一方で、今後も情報処理や記録に要する消費電力は爆発的に増大するため、電子デバイスの低消費電力化は喫緊の課題であり、材料学的なアプローチの重要性も益々増している。一方で、データ科学は『マテリアルズインフォマティクス』として、材料研究を強力に推進する技術として結実しつつある。このように、「情報やデバイス」と「材料」は、複眼的な視点で捉え直すことができる。本研究会では、異なるバックグラウンドを持つ研究者の方々を招き、材料研究に関して様々な観点から議論をすることを目的とする。

プログラム

- 13：30－13：40 はじめに（東北大学 教授 齊藤 雄太）
- 13：40－14：10 材料最適化に向けたベクトルアニーリング適用の可能性
（日本電気株式会社 主幹研究員 石田 真彦）
- 14：10－14：40 点欠陥特性を考慮した半導体材料スクリーニング
（東北大学金属材料研究所 教授 熊谷 悠）
- 14：40－15：10 半導体ナノワイヤデバイスにおける巨大スピン軌道相互作用制御
（東京農工大学 准教授 高瀬 恵子）
- 15：10－15：20 休憩
- 15：20－15：50 磁気バルクハウゼンノイズ測定による、軟磁性体中の磁壁ダイナミクスの解析
（産業技術総合研究所 主任研究員 田丸 慎吾）
- 15：50－16：20 鉄系圧粉磁心の損失推定に向けた機械学習の利用に関する検討
（東北大学 准教授 室賀 翔）
- 16：20－16：50 半導体デバイスへの新材料導入に向けたアプローチについて
（産業技術総合研究所 主任研究員 畑山 祥吾）
- 16：50－17：00 おわりに（東北大学 教授 梅津 理恵）

参加方法

メールにて東北大・齊藤までご連絡ください。送り先：yuta.saito.e5@tohoku.ac.jp

(お問い合わせ先)

齊藤 雄太

東北大学

グリーン未来創造機構 グリーンクロステック研究センター

大学院 工学研究科 知能デバイス材料学専攻

〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-11-1005

Tel: 022-795-7360

E-mail: yuta.saito.e5@tohoku.ac.jp